

神奈川の大学博物館の紹介

日本大学生物資源科学部博物館「骨の博物館」

大学内にある博物館ですが、一般の方も自由に見学できます。生物資源科学部 11 学科の各研究分野に関連する資料を中心に収集・保存・展示をしています。学生や一般の方向けの企画展示や小中学生を対象としたセミナーなどのイベントも開催します。施設は学芸員課程の授業や実習でも活用されます。

1 博物館の沿革

1974 年に標本模型管理委員会を発足後、資料室を徐々に拡充し、1984 年に日本大学農獣医学部資料館として開館しました。1990 年に「博物館相当施設」の指定を受け、2005 年には「日本大学生物資源科学部博物館」に名称変更しました。令和元年に展示室の改装を行って、呼称を「骨の博物館」とし、骨の多様性と進化をテーマに展示更新しました。2024 年度中に「登録博物館」へ申請予定です。

2 博物館の特色

展示室は 1～3 階にあります。アフリカゾウやキリン、クロミンククジラなど大型の野生動物をはじめ、ウシ、ウマ、イヌなどの家畜や伴侶動物の全身骨格標本が多いことが特色です。1 階の展示テーマは「骨を見る」で、陸、空、海に適応した脊椎動物の多様さを感じていただくことを目指しています。オランウータン、ベンガルトラ、ダチョウなどは剥製と骨格標本を並べ、外観と骨格とを比較観察できます。2 階の展示テーマは「骨を知る」で、骨への知識を深めていただくことを目指しています（現在更新中）。家畜や伴侶動物などは 2 階で展示しており、これらは大学の授業でも使用され、スケッチの希望者には画板や椅子の貸し出しも行っています。3 階はコレクション展示で、チョウ類の亜種など生息地域ごとの変異を見ることができます。その他、主に稲作で使用された古農機具、木質食

昆虫による食痕（被害材）標本、イネの栽培の起源（パネル）、鉱物標本など様々な資料を展示しています。3 階にはイベントホールがあり、企画展示などを行っています。

3 地域文化との関わり

本学部は神奈川県藤沢市亀井野に立地し、「モースと相模湾の生き物」、「生き物が語る藤沢の自然」など地域と関わりの深い企画展示も行ってきました。また「むらさきの丘サイエンス・セミナー」や「夏休み宿題相談会」など、小中学生とその保護者を対象とする行事も行っています。

4 利用案内

- ・開館時間 月～金 10:00～16:00
土（第 1、3）10:00～12:30
各日最終入館は 30 分前まで
- ・休館日 日・土（第 2、4、5）・祝日
その他大学の休日、詳細は HP
<https://hp.brs.nihon-u.ac.jp/~museum/>
- ・入館料 無料
- ・交通アクセス 小田急江ノ島線六会日大前駅西口徒歩 4 分（駐車場・駐輪場はなし）



クロミンククジラ全身骨格標本